



平成 20 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 和田 洋 一
(コード番号 9684 東証第一部)
問合せ先 グループ経営統括室長 佐々木 通博
(TEL. 03-5333-1144)

第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 5 月 23 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 20 年 5 月 23 日公表)	70,000	4,000	4,000	2,500
今 回 修 正 予 想 (B)	68,000	9,400	9,700	6,000
増 減 額 (B - A)	△2,000	5,400	5,700	3,500
増 減 率 (%)	△2.9	135.0	142.5	140.0
(ご参考)前期(平成 20 年 3 月期) 第 2 四半期連結累計期間実績	72,271	9,752	9,303	5,211

2. 修正の理由

ゲーム事業は、国内で発売したニンテンドーDS 向けの「ドラゴンクエスト V」等の貢献と、費用の効率化を要因として、売上高、利益ともに計画を上回る見込みになりました。

出版事業は、テレビアニメ化により、「ソウルイーター」、「隠の王」、「セキレイ」などのコミックスの販売が伸長し、売上高、利益ともに計画を上回る見込みになりました。

オンラインゲーム事業、モバイル・コンテンツ事業は、売上高が順調に推移したことに加え、第 2 四半期も高い効率性を持続し、利益が計画を上回る見込みとなりました。

AM等事業(株式会社タイトー)は、厳しい外部環境の中、売上高、利益ともに計画を下回る見込みとなりました。

その他事業は、6 月に投入した AM 施設向け機器「ロードオブヴァーミリオン」などの貢献により、順調に推移いたしました。

以上を要因とした第 2 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益の上方修正であります。なお、通期の連結業績予想は前回公表値から変更ありません。

※上記の業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上